

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名	公立小浜病院組合											
プ ラ ン の 名 称	杉田玄白記念公立小浜病院改革プラン											
策 定 日	平成21年3月26日											
対 象 期 間	平成21年度 ~ 平成27年度											
病院の現状	病 院 名	杉田玄白記念公立小浜病院										
	所 在 地	福井県小浜市大手町2番2号										
	病 床 数	456床(一般290床 結核8床 感染2床 療養50床 精神100床 ドック6床)										
	診 療 科 目	内科・呼吸器科・循環器科・外科・整外・脳外・産科・児科・耳科・眼科・泌尿科・皮膚科・放科 麻科・心臓外科・形外・精科・神科・リハ科・歯科										
公立病院として今後果たすべき役割 (概要)	<p>嶺南医療圏・若狭地域の基幹病院として、政策的医療等の提供や病診連携の中心的役割を果たし、地域医療水準の維持、向上に努める。</p> <p>初期治療から高度特殊医療まで総合的に提供できる救急医療の提供 生活習慣病に適切に対応する医療の提供 地域災害医療センターとしての医療機能の提供 へき地医療拠点病院としての機能の提供 小児医療・産科医療の確保 研修機能の充実 看護師の養成・確保 地域医療機関との連携の推進</p>											
一般会計における経費負担の考え方 (繰出基準の概要)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1床あたりの普通交付税額相当分</li> <li>・ 救命救急センター運営に係る特別交付税額相当分</li> <li>・ 学生1人あたりの普通交付税額相当分</li> <li>・ 企業債元利償還額の普通交付税額相当分</li> </ul>											
経営効率化に係る計画	財務に係る数値目標 (主なもの)	19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	備考	
	経常収支比率	91.0%	85.7%	95.1%	89.3%	89.6%	93.6%	96.3%	99.3%	100.6%		
	(減価償却費を除く)	96.2%	98.3%	106.8%	99.7%	100.1%	104.0%	106.4%	108.1%	109.1%		
	医業収益比率	88.3%	81.7%	84.4%	87.1%	89.0%	91.9%	92.8%	94.7%	95.3%		
	(減価償却費を除く)	93.9%	95.0%	96.2%	98.2%	100.6%	103.1%	103.3%	103.6%	103.9%		
	職員給与費比率	60.5%	59.3%	57.5%	55.8%	54.5%	53.6%	53.6%	53.6%	53.6%	53.5%	
	材料費比率	24.9%	25.3%	24.0%	23.7%	23.7%	23.5%	23.3%	23.1%	22.9%		
	経 費	11.9%	12.6%	12.2%	12.3%	12.3%	12.3%	12.3%	12.3%	12.3%	12.3%	
	病床利用率	73.0%	71.1%	77.8%	82.2%	85.6%	86.7%	86.7%	86.7%	86.7%	86.7%	
	上記目標数値設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支出においては、現金支出を伴わない高額の「減価償却費」等が含まれており、平成26年度までの黒字化は困難である。 (経常黒字化の目標年度： 27年度)</li> </ul>										

					団体名 (病院名)		杉田玄白記念公立小浜病院					
公立病院としての医療機能に係る数値目標 (主なもの)		19年度実績	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	備考	
入院患者数(人)		114,012	116,800	127,750	135,050	140,910	142,350	142,350	142,350	142,740		
手術件数(件)		1,599	1,732	1,818	1,909	2,004	2,024	2,024	2,024	2,030		
健診件数(件)		796	1,090	1,300	1,365	1,430	1,445	1,445	1,445	1,449		
研修医受入数(人)		1	4	6	8	8	8	8	8	8		
経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	民間的経営手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院給食業務の一部を外部委託している。</li> <li>・ 施設内の清掃業務・警備業務を外部委託している。</li> <li>・ 外来投薬の院外処方化を平成17年度から実施している。</li> <li>・ 医事業務の一部を機械化し、平成21年4月から運用を開始する。</li> <li>・ 電話交換手業務を外部委託の方向で検討中。</li> <li>・ 施設・設備の管理業務を一括して外部委託の方向で検討中。</li> </ul>									
		事業規模・形態の見直し	<p>病床運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病床数は現行の450床を維持する。</li> <li>・ 救急・急性期機能に特化し、亜急性期病床を有効利用する。</li> <li>・ 維持期の患者については他施設へ紹介するなど、一層の連携を進める。</li> </ul>									
		経費削減・抑制対策	<p>給与費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務委託・機械化することにより、給与費の抑制を図る。</li> <li>・ 医師・看護師を除く職種については、原則として増員しない。</li> </ul> <p>経費の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診療材料の購入は「診療材料検討委員会」で充分審議し、安価な材料に変更可能なものは変更する。 また、物品の一括管理(SPD)の実施により診療材料等を定数管理しているが使用状況の確認を一層強化し、実績の2%削減を目指す。</li> <li>・ 高度医療施設整備事業(第3期工事)の工事費および医療機器購入については、出来るだけ事業費の削減を図る。</li> </ul>									
		収入増加・確保対策	<p>急性期病院として平均在院日数の短縮に努め、効率的な病床運営を行い病床利用率を高める。</p> <p>亜急性期病床を8床増床し、入院収益の増収を図る。(年間 21,900千円)</p> <p>初診時特定療養費や文書料等の見直しを図る。</p> <p>診療報酬制度に的確に対応するため、研修等を実施する。</p> <p>良質な医療の提供と収益性の向上を図るため、急性期入院医療における診断群分類別包括評価(DPC)準備病院に平成20年度申請した。</p> <p>地域医療支援病院の承認が得られることにより、入院収益の増収が見込めることから承認申請に向け検討を開始した。</p>									
		その他										
各年度の収支計画		別紙1のとおり										
その他の特記事項	病床利用率の状況	17年度 86%      18年度 83%      19年度 73%										
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	<p>病床数の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病床数は現行の450床とし、平成26年度には利用率87%をめざす。</li> <li>・ 健診ベット6床についても現状を維持する。</li> </ul> <p>施設の増改築計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成14年4月に設置された「公立小浜病院高度医療施設整備計画策定委員会」の答申を受け、平成15年度より、施設整備事業を進めてきたが、平成21年度から3ヶ年計画で最終事業となる第3期工事に着手の予定。 第3期工事の骨子は診療棟の増築、既存施設の改修・解体、患者用駐車場整備であるが、あわせて福井県エネルギー研究開発拠点化計画に基づく病院医療機能の拡充にも取り組む。 (既存施設のうち、旧病棟は昭和55年以前に設計された建物であり、耐震強度基準を満たしていないため解体撤去し、狭隘化している患者用駐車場を拡張したい。)</li> </ul>										

団体名  
(病院名)

杉田玄白記念公立小浜病院

再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	<p>当院が所在する福井県嶺南医療圏には、次の公立病院および公的病院が開設されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立敦賀病院(敦賀市・375床)・国立病院機構福井病院(敦賀市・320床)</li> <li>・レイクヒルズ美方病院(若狭町・美浜町・100床)</li> <li>・国保上中病院(若狭町・75床)・社会保険高浜病院(高浜町・115床)</li> </ul> <p>(参考資料:嶺南医療圏における病院の概要・福井県医療体制図)</p>			
	都道府県医療計画等における今後の方向性				
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>医療圏は2つの地域に区別されるが、当院が属する若狭地域にあっては、当院が唯一の基幹病院である。 (参考資料:嶺南医療圏における病院の概要・福井県医療体制図)</p> <p>医療機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既にレイクヒルズ美方病院とは医師の支援・職員の人事交流・患者紹介・逆紹介を行なっている。また上中病院を含む地域の医療機関と連携を図り、患者紹介・逆紹介を行なうとともに、CT・MRI・PET-CT検査を受託しており今後も地域の医療機関との連携を強化して行きたい。</li> </ul>		
経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況 (該当箇所) <input checked="" type="checkbox"/> を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人	
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所) <input checked="" type="checkbox"/> を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 民間譲渡	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度	
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付 2 具体的な計画が未定の場合は、検討・協議の方向性、検討・協議体制、検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。	<時期>	<p>&lt;内容&gt;</p> <p>当院の使命と役割、さらに地域医療の確保・充実などの観点に立ち、平成21年度より、病院組合事業間で設置されている「病院組合運営事業会議」において、調査・研究したいと考えています。 平成22年度内には、病院としての方向性をとりまとめ、関係自治体と協議する予定です。</p>		
点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制(委員会等を設置する場合その概要)	外部有識者・住民代表・行政代表を含む「病院評価委員会」を平成21年度に設置予定			
	点検・評価の時期(毎年 月 頃等)	毎年度9月末を目途とする。			
その他特記事項					

(別紙)

団体名  
(病院名)

杉田玄白記念公立小浜病院

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度										
		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
収 入	1. 医 業 収 益 a	5,108	4,952	5,180	5,597	5,838	6,045	6,096	6,096	6,096	6,110	
	(1) 料 金 収 入	4,828	4,715	4,899	5,293	5,523	5,720	5,771	5,771	5,771	5,782	
	(2) そ の 他	280	237	281	304	315	325	325	325	325	328	
	うち他会計負担金	112	48	23	23	23	23	23	23	23	23	
	2. 医 業 外 収 益	646	719	742	1,421	601	618	673	668	662	696	
	(1) 他会計負担金・補助金	318	381	427	457	449	466	519	514	508	543	
	(2) 国 ( 県 ) 補 助 金	203	195	192	179	11	11	11	11	11	11	
	(3) そ の 他	125	143	123	785	141	141	143	143	143	142	
	経 常 収 益 (A)	5,754	5,671	5,922	7,018	6,439	6,663	6,769	6,764	6,758	6,806	
	支 出	1. 医 業 費 用 b	5,481	5,605	6,338	6,632	6,700	6,789	6,633	6,570	6,439	6,408
(1) 職 員 給 与 費 c		2,941	2,996	3,073	3,220	3,259	3,292	3,270	3,270	3,270	3,270	
(2) 材 料 費		1,348	1,231	1,311	1,344	1,381	1,430	1,431	1,420	1,408	1,399	
(3) 経 費		513	587	651	684	718	744	750	750	750	752	
(4) 減 価 償 却 費		335	332	883	811	755	781	723	671	552	528	
(5) そ の 他		344	459	420	573	587	542	459	459	459	459	
2. 医 業 外 費 用		533	625	570	751	511	647	598	456	366	356	
(1) 支 払 利 息		135	211	256	245	235	240	229	218	207	198	
(2) そ の 他		398	414	314	506	276	407	369	238	159	158	
経 常 費 用 (B)		6,014	6,230	6,908	7,383	7,211	7,436	7,231	7,026	6,805	6,764	
経 常 損 益 (A) - (B) (C)	-260	-559	-986	-365	-772	-773	-462	-262	-47	42		
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2. 特 別 損 失 (E)	0	253	0	0	0	0	0	0	0	0	
	特 別 損 益 (D) - (E) (F)	0	-225	0	0	0	0	0	0	0	0	
純 損 益 (C) + (F)	-260	-784	-986	-365	-772	-773	-462	-262	-47	42		
累 積 欠 損 金 (G)	390	1,174	2,160	2,525	3,297	4,070	4,532	4,794	4,841	4,799		
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	4,387	1,539	1,071	1,249	1,028	960	1,201	1,545	1,811	2,128	
	流 動 負 債 (イ)	2,800	472	308	366	382	395	399	399	399	400	
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (イ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
差引 不 良 債 務 (オ)	{(イ)-(I)} - {(ア)-(ウ)}	-1,587	-1,067	-763	-883	-646	-565	-802	-1,146	-1,412	-1,728	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$		95.7	91.0	85.7	95.1	89.3	89.6	93.6	96.3	99.3	100.6	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{(ア)} \times 100$		-31.1	-21.5	-14.7	-15.8	-11.1	-9.3	-13.2	-18.8	-23.2	-28.3	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$		93.2	88.3	81.7	84.4	87.1	89.0	91.9	92.8	94.7	95.3	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$		57.6	60.5	59.3	57.5	55.8	54.5	53.6	53.6	53.6	53.5	
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)												
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$												
病 床 利 用 率		83.1	73.0	71.1	77.8	82.2	85.6	86.7	86.7	86.7	86.7	

## 2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		年度									
		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収 入	1. 企 業 債	2,820	4,206	37	200	721	147	50	50	50	50
	2. 他 会 計 出 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	51	91	107	208	324	316	357	278	197	196
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	414	554	8	0	0	0	0	0	0	0
	7. そ の 他	12	17	165	328	425	3	3	3	3	3
	収 入 計 (a)	3,297	4,868	317	736	1,470	466	410	331	250	249
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度計上債で当年度借入 分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a) - {(b) + (c)} (A)	3,297	4,868	317	736	1,470	466	410	331	250	249	
支 出	1. 建 設 改 良 費	3,348	4,924	57	524	1,244	210	53	53	53	53
	2. 企 業 債 償 還 金	171	228	484	701	731	707	611	438	451	463
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0								
	4. そ の 他	16	15	20	24	23	24	24	24	24	24
	支 出 計 (B)	3,535	5,167	561	1,249	1,998	941	688	515	528	540
差引不足額 (B) - (A) (C)	238	299	244	513	528	475	278	184	278	291	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	238	135	14	270	528	475	278	184	278	291
	2. 利益剰余金処分額										
	3. 繰越工事資金										
	4. そ の 他	0	164	230	243	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	238	299	244	513	528	475	278	184	278	291
補てん財源不足額 (C) - (D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)											
実質財源不足額 (E) - (F)											

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収 益 的 収 支	( 19,994)	(19,094)	(21,195)	(20,983)	(20,983)	(20,983)	(20,983)	(20,983)	(20,983)	(20,983)
	430,663	428,703	449,603	479,155	471,763	488,147	540,897	536,392	530,230	534,574
資 本 的 収 支	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)	( 0)
	51,172	91,006	106,947	208,298	323,624	315,759	357,963	278,216	196,823	195,781
合 計	( 19,994)	(19,094)	(21,195)	(20,983)	(20,983)	(20,983)	(20,983)	(20,983)	(20,983)	(20,983)
	481,835	519,709	556,550	687,453	795,387	803,906	898,860	814,608	727,053	730,355

(注)

- ( )内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務省自治財政局長通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。